

## 赤坂川跡を辿って

# 新宿荒木町の路地裏と策の池へ

日 時:2013年12月4日(水) 天候:晴れ 一般コース 約10km

集 合:東京メトロ「赤坂見附駅」10時 (10番出口の地上)

コース:赤坂見附駅～赤坂不動尊～赤坂豊川稲荷～日枝神社～赤坂御門跡～赤プリ旧館(工事中)～清水谷公園  
ホテルニューオータニ日本庭園～迎賓館前～鮫川橋地名発祥の碑・赤坂川(跡)～西念寺・服部半蔵の墓  
～お岩稲荷～荒木町路地裏・策(むち)の池～四ツ谷駅(解散)

案内=オフィス地図豆 山岡光治氏

参加者:河野(L)・吉越・渡辺ノ・栗本・小野里・青松秀・内田絵・斉藤優・鈴木徳・沢崎・森川・山川・横田・小島  
/中井・倉沢(新入会2名) 計17名(山岡先生含む)

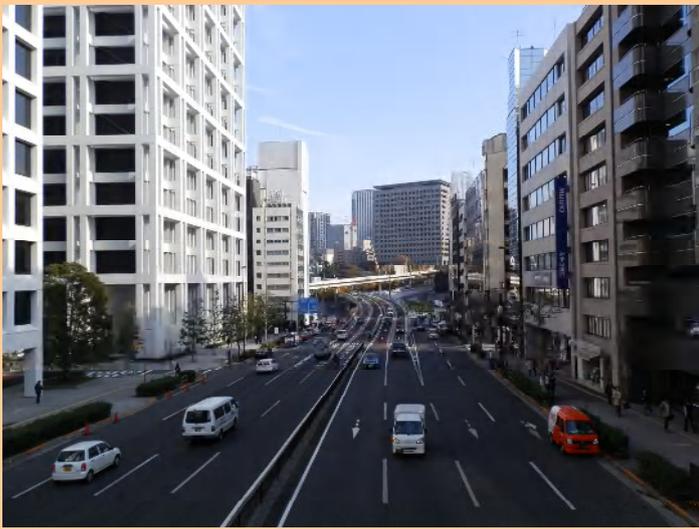
ここ赤坂にはかつてミカドという大きなキャバレーがあり一時代を築いていましたが、ドルショックやオイルショック等が響いてその幕を閉じてしまいました。そんな懐かしい街が時代の流れで大きく変貌を遂げた中を、ウォーキングはスタートしました。現在移設作業中の赤坂プリンスの旧館も、ここ赤坂を象徴する建物で当時を知る人には貴重な財産といえます。また私にとって「ホテルニューオータニ」は、開業の翌年にハワイからの観光団の添乗で宿泊した思い出のある懐かしい所です。ただ今回のコースの目玉は何といても荒木町の窪地にある「策(むち)の池」で、その昔には徳川家康も立ち寄ったと伝えられています。ここからは何処に出るにも坂を上らなければならない地形が、未だに当時の風情を保っているのではと思われました。

勝手知った都心のつもりでしたが、エアポケットのような場所がまだまだあることを知らされた一日でした。

(写真&文 小島)



紅葉の清水谷公園で



歩道橋から見た246号(青山通り)。



まず赤坂豊川稲荷で今日一日の無事を祈願します。



何やら朝から楽しそうな雰囲気です。



山岡先生、女性が多いので説明に気合が入っています。



新入会の中井さんと倉沢さん。皆さん宜しく...



子だき狐と福祿寿も歓迎していますよ！



あの「とらや」です。暖簾にも風格が...



珍しい名の牛鳴坂。モ〜



ラクダのオブジェ。台湾系の企業です。



赤坂は底地。多くの坂がありますが、ここは丹後坂です。

夜はネオン輝く通りですが昼間は...



乃木坂通り。TBS赤坂サカスが見えます。

山王日枝神社。鳥居の右側に気になるものが...



皆さんの視線も...

これです。乗るの？





こんな高い場所にぶつかる人はいないでしょう。



冬桜が咲いていました。



赤坂プリンスの旧館は移設作業中。



この歩道橋から建設中の首都高速を撮ったことがあります。



銀杏の葉が歩道を黄色に染めて...



赤坂見附跡。街道を警備する城門でした。



赤プリ旧館の現場を見ます。



警備の方の計らいで撮らせてもらいました。当時の姿です。





この周辺は公務員の天国、天下り法人だらけです。



清水谷公園への急階段を下ります。



園内は紅葉の真っ盛り。



江戸時代の水道の石柵がありました。



大久保利通公の碑



池の周囲の紅葉。自然の湧き水は涸れています。



黄金色が目に沁みます。



ニューオータニタワーに入ります。



先生もちょっと迷い気味？



日本庭園の滝の前で集合写真。バックのホテルとはやや違和感？…いえ、ありません！

※昭和39年当時に比べると、隣にニューオータニタワーが建ち、広がった敷地もなぜか狭くなった印象があります。



庭園内にはレストランが点在します。廻遊式庭園には必ず赤い橋がありますね。一回りして元に戻りました。



清水谷公園に戻って昼食タイムです。

陽当たりの良い場所は先着順！



こちらはベンチを確保。

デザートが見つからない？

山岡先生はスズメと戯れて...



食後は四ツ谷方面に向かいます。

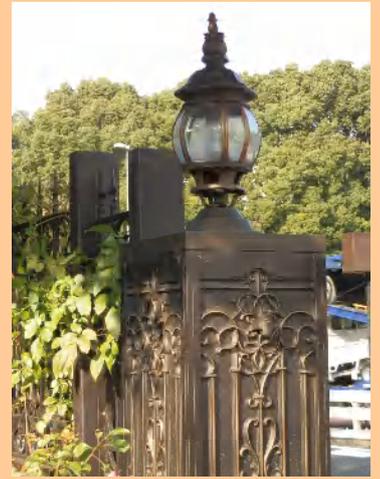
弁慶橋ポートハウス。昔よく乗ったものです。



弁慶橋から振り返ると、赤プリ旧館が見えます。



ニューオータニのツイン。



風格ある門柱。



迎賓館裏手(?)の門。



皆さん何をキョロキョロ？



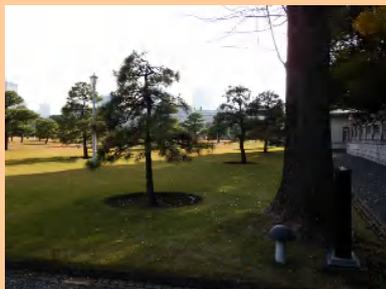
迎賓館正面。広い敷地に驚きました。



おや、守衛ボックス内のこの方は？



正門前は四ツ谷駅方面です。



敷地内を覗いてパチリ。



迎賓館を後にして...



ここが学習院初等科です。門脇には覆面車が待機。カメラを構えたら守衛さんが出てきました。(不審者とでも)



これが鮫川(赤坂川)橋地名発祥の碑。

赤坂川跡。いかにも川跡のようなカーブです。



やたら坂が…鉄砲坂。

浄土宗西念寺には服部半蔵の墓があります。

ここは観音坂。



須賀神社に上がる階段。

社殿正面。

境内には三十六歌仙の歌がありました。



於岩稻荷田宮神社です。通称お岩さん。



やはり歌舞伎に関して奉納されています。中村勘三郎等の名も。



四ツ谷三丁目交差点に到着。



こんな装飾も・・・時期ですね。



いよいよ荒木町に足を踏み入れます。



荒木町の路地。風情ある石畳です。



「かけカツ丼」て何？



この先の階段。自宅専用なんです。



粋な名前の通りです。



小さな公園で小休止。



ここから更に下ります。



ここが目的地、津の守弁財天と策(むち)の池です。



これも粋な案内板。細道に「い」を入れたところが何とも・・・



池から“地上”に出るには急な登り階段です。



四ツ谷駅近くで解散。たい焼き「若葉」に行く人も・・・

今回は赤坂から荒木町までを歩きましたが、近代的な街赤坂と、三業地の雰囲気を残す荒木町との対比が面白く特に「策の池」に下る路地裏には、古き良き時代の匂いが漂っていて、昭和が蘇ってくる感じがしました。また途中歩いた赤坂川(鮫川)跡の道は、微妙にうねった川の流れを思い起こさせる雰囲気を漂わせています。いつもは丘陵地帯を巡るウォーキングが多くなりがちですが、今日は街歩きの奥深さを十分堪能することが出来ました。

※アフターは歩き足りないとのことで、7人で四ツ谷からまた赤坂まで歩きで戻り、赤坂見附駅前の「華の舞」で。ここは青松さん馴染みの店とのこと。途中からは仕事でウォーキングに来られなかった宮野さんが合流してまた一段と話が盛り上がり、女性陣は顔のシワが心配になるほど笑いが絶えない楽しい一夜となりました。

<ポイント説明>

- 豊川稲荷: 北町奉行の大岡忠相が、領地の三河に古くから伝わる妙厳寺の鎮守・ダ釈尼天(だきにしてん)を深く崇拝したことで、その子孫が赤坂一ツ木の下屋敷内に勧請したのが始まり。
- 日枝神社: 江戸三大祭の一つ、山王祭が行われることで知られている。太田道灌が江戸城築城にあたり、川越日枝神社を勧請したのが始まりといわれる。
- 赤坂見附御門跡: 江戸城の三十六見附の一つ。外敵の侵入・侵攻を発見するために設けられた警備の城門。門は明治5年に撤廃され現在は石垣の一部が残っている。
- 赤坂プリンスホテル旧館: 2007年に閉館。同館は、朝鮮皇太子として生まれ、併合後に日本の皇族に準じた扱いを受けた李垠の邸宅として造営された建物。

- 清水谷公園:紀州徳川家の屋敷から清水が湧き出ていたことからこう呼ばれた。かつてはデモ集会の場としても知られた場所で、江戸水道の石柵が残されている。
- ホテルニューオータニ日本庭園:約4万㎡の庭園。400年の歴史を有する東京名園の一つ。樹木に囲まれ、大滝、小滝、枯山水を配した池泉廻遊式庭園。宿泊者以外も見学可。
- 迎賓館:当初は東宮御所として明治42年に元紀州藩の屋敷跡に建てられ、その後赤坂離宮と改められた。第二次大戦後改装されて、昭和49年に迎賓館となった。
- 西念寺・服部半蔵の墓:服部半蔵は、徳川家康の下で間諜として大活躍し信望を得た。家康が江戸に居城を構えた折、邸を与えられ禄を封ぜられた。「半蔵門」にその名を残す。
- 四谷怪談お岩観音:四ツ谷三丁目スーパー「丸正」の一階入口にあるのが「お岩水かけ観音」。この場所に特に謂れはないが、スーパー建設の折に社長の肝いりで建立されたそうです。
- 荒木町路地裏と策の池:特徴的な道路形状や地形を持つ荒木町の窪地には、家康が鷹狩りの際に湧き水で汚れを落としたと伝えられる、津の守弁財天と策(むち)の池がある。今では流れ込んでいた滝も消えている。この周辺は江戸時代には大名屋敷として、また明治から大正にかけては芸者が行きかう三業地(料亭・置屋・待合)として賑わったが、現在も池の周辺の古びた建物や石畳にその面影が残されている。戦後は近くにあったフジテレビ関連の業界人で賑わっていたが、今では狭い路地に飲食店が軒を連ねている。

(以上は山岡先生の街歩きレジュメより抜粋)